



学校だより

碩愛

No. 11

R元.5.17 発行

団結の証「学級旗」も着々と…

たいいくたいかい こうぐん はくぐん たたか どうじ がっきゅう がくねん だんけつ ふか
体育大会は紅軍・白軍の闘いですが、同時に学級や学年の団結を深める

じゅうよう きかい がっきゅうき せいさく ちゃくちゃく すず
重要な機会でもあります。学級旗の制作も着々と進んでいるようです。

競技や応援の練習と係の仕事に並行して、クラスの団結の証でもある「学級旗」の制作も着々と進んでいます。後期に進級した8年生、

期の中核となった6年生、中期の仲間入りをした5年生に体育大会への意気込みを聞いてみました。

【8年 川邊愛音くん】

みんなで悔いが残らないように全力でリレーや学年競技をしたい。

【6年 菊入菜々子さん】

切り替えが素早くできるように、しっかり頑張っていきたいです。

【5年 後藤唯さん】

注意されてからではなくて、注意される前にキビキビと動きたいです。

総合練習

17日（金）の1、2時間目に、グラウンドで全校そろって、入退場



などの練習をしました。ストレッチ体操の時、はじめは声小さくて「あれ、300人くらいしかいないのかな？」と心配しましたが、途

からどんどん大きくなり「こうでなくっちゃ！」と思いました。

あとは、集合のときにピーンと

ぶくぶく

児童生徒の歯と口の健康を守るフッ化物洗口を行っ

ています。本校では昨年度から導入し、今年は今朝からスタートしました。1年生は初めてなので洗口液の代わりに水を使い、ぶくぶくうがいの音楽に合わせて、上手にできていました。



嵐をおこせ～令和最初の輝跡～

たいいくたいかいじっこういんちょう ねんまついりょうま
体育大会実行委員長の9年松井涼馬くんと

あだちかほ ふたり
足立佳穂さんの二人にインタビューしました。



Q:開校3年目。どんな体育大会にしたいですか。

【松井くん】結団式の時にもみんなにお話ししたように、切り替えができるようにしたいです。私語があると、指示が徹底しません。練習の時から、切り替えがちゃんとできないと、本番でうまくできるはずがないからです。切り替えをしっかりして、一つ一つの行動にキビキビと取り組んでいってほしいです。

それと、碩田学園も3年目になるので、仲間とのつながりの大切さだったり、全力で達成することの喜びだったり、一人一人が自分の中で新しい発見をしてほしいと思っています。

Q:なるほど。1年目の礎に、2年目の大黒柱。これに安住するのではなく、常

挑戦する姿勢で、新たな大きな風、嵐を起こそうということが今年のテーマになっているというわけですね。2週間の練習期間の半分が過ぎました。テーマに沿って、どのような嵐がおこせそうですか？

【足立さん】私は、感動の嵐をおこしたいと思っています。今日の練習でも、だんだんと良くなってきて、みんな頑張っていると思います。一人一人が、苦しさや辛さを乗り越えて、中途半端では味わえない本当の楽しさ、全力を出し切ってこそその楽しさを実感して、その先のビビビッと鳥肌が立つような感動にたどり着きたいです。全校で、輝きの証のようなそんな感動の嵐を巻き起こしたいんです。サブテーマはのきせきを「輝きの跡」としているのはその意味です。

♪ 掲げる理想より高く 新しき歴史を築かん

実行委員長さんに聞きました